

お客様各位

2021年3月9日

株式会社 HIRANUMA

品質保証部

TEL: 029-247-6119

FAX: 029-240-0881

水標準品 0.02 の微量水分測定装置での使用について

水標準品 0.02 は水分測定で用いる低水分濃度の標準物質であり、主に高感度水分測定装置 MOISTAR-A18 の点検に用いられます。本製品の Lot. 212K7207 より、取扱説明書に記載の適用する水分測定装置と試薬、および回収率の情報を更新いたしました。

本製品を微量水分測定装置 (MOICO, AQ シリーズ) で使用した場合、使用する発生液の組み合わせによっては水分規格値から逸脱することが判明しました。本製品を測定する場合の、水分測定装置と推奨する発生液の組み合わせは次のようになります。対極液についてはアクアライト CX と CN どちらでも使用可能です。

測定装置	発生液品名	パーツ No.
高感度水分測定装置 MOISTAR-A18	アクアライト RS-A	D327660-A02, A12
	アクアライト GRO-A	D311173-A02, A12
	アクアライト RS	E327337-A, B
	アクアライト RO	E327338-A, B
微量水分測定装置 MOICO, AQ シリーズ	アクアライト RS-A	D327660-A02, A12
	アクアライト GRO-A	D311173-A02, A12

また水標準品 0.02 をお使いのお客様より、取扱説明書に記載の回収率の判断目安である 100±20 % (およそ 4 ppm, Lot による) が達成困難である、とのご意見を頂きました。低水分濃度のため開封後の吸湿とみられ、実用上の便宜のため 100±30 % に変更いたしました。

水標準品 0.02 の使用方法

- (1) アンプルのポイントマーク下には開封のための刻みがついています。けが防止のため手袋を着用してください。
- (2) アンプルを開封します。外気により水標準品の吸湿が懸念される場合、アンプル開封後速やかにゴム栓*を取り付け、吸引時にアンプル内が減圧にならないようにするため注射針を刺します (右図)。
- (3) ガラス製シリンジ(5mL または 10mL) を水標準品で共洗いします。
- (4) アンプルに残った水標準品をシリンジに吸引します。
- (5) 針先をウェスで拭き、シリコンゴムチップを針先につけます。
- (6) 高感度水分測定装置で約 0.3mL を注入して水分量を測定します。
- (7) 測定 3 回の平均が保証値に対して 100%±30% の範囲内であるとき、装置および試薬が正常であると判断します。



図 アンプルへのゴム栓の取り付け

* 本品は KF 電量法水分計でも使用可能です。その際は発生液には

アクアライト RS-A または GRO-A を用い、試料量を約 1.5mL とします。

* 試料注用ゴム栓: P/N E327150-A